

展示室 1a さかのぼり岐阜洋画史 大正・明治編

2023年10月11日(水)-12月24日(日)

岐阜の絵画のルーツをたどる「さかのぼり岐阜洋画史」。平成・昭和編(2023.6.27-10.1)につづき、大正・明治編を開催します。

昭和から大正、明治へとさかのぼるにつれ、岐阜の地を遠く離れて画家を志していった当時の人々の並々ならぬ気概に圧倒されます。洋画黎明期の画家山本芳翠は、本格的に洋画の技法を学ぶために、1878(明治11)年フランスに渡りました。パリにはまだ日本人は数えるほどしか住んでいなかった時代でした。

*印は寄託作品

作者名	生年-没年	作品名	制作年	素材、技法
やまもと ほうすい 山本 芳翠	1850-1906	若い娘の肖像 <small>しょうぞう</small>	1880頃	油彩、画布
		* 琉球令正婦人肖像 <small>りゅうきゅうれいせいふじんしょうぞう</small>	1887-92頃	油彩、画布
		* 婦人像 <small>ふじんぞう</small>	不詳	油彩、画布
		海岸風景 <small>かいがんふうけい</small>	1906頃	油彩、板
ながはら こうたろう 長原 孝太郎	1864-1930	京都 <small>きょうと</small>	1903	油彩、板
		辛夷 <small>こぶし</small>	1914	油彩、板
		白壁の家 <small>しらかべ いえ</small>	1918頃	油彩、板
		信州風景 <small>しんしゅうふうけい</small>	1918頃	油彩、板
まきの いさぶろう 牧野 伊三郎	1870-1895	嘉七像 <small>かしちぞう</small>	1892	油彩、画布
		にわとり	1893頃	油彩、画布
		嘉平治像 <small>かへいじぞう</small>	1894	油彩、画布
		* 鎧の袖 <small>よろい そで</small>	1892頃	油彩、画布
くぼた きさく 窪田 喜作	1874-1941	農家 <small>のうか</small>	1900頃	油彩、画布
		家族 <small>かぞく</small>	1902	油彩、画布
わたなべ しんや 渡部 審也	1875-1950	船着場 <small>ふなつきば</small>	1915	油彩、画布
きた れんぞう 北 蓮蔵	1876-1949	午の憩 <small>ひる いこい</small>	1916	油彩、画布
		岩倉邸行幸(習作) <small>いわくらていぎょうこう しゅうさく</small>	不詳	油彩、画布
くまがい もりかず 熊谷 守一	1880-1977	婦人半身像 <small>ふじんはんしんぞう</small>	1905	油彩、画布
		蠟燭 <small>ろうそく</small>	1909	油彩、画布
		母の像 <small>はは ぞう</small>	1910頃	油彩、画布
		赤城の雪 <small>あかぎ ゆき</small>	1916	油彩、画布
みやち しこう 宮地 志行	1891-1936	マントの少女 <small>しょうじょ</small>	1914	油彩、画布
		滝 <small>たき</small>	1919	油彩、画布
すずき まこと 鈴木 誠	1897-1969	習作	1921	油彩、画布
いとう としひろ 伊藤 敏博	1898-1973	静物 <small>せいぶつ</small>	1921	油彩、画布
さかい はんいち 坂井 範一	1899-1981	憩へる女 <small>いこ おんな</small>	1926	油彩、画布